公益社団法人日本地震工学会 第73回理事会議事録

A.日時：2024年12月16日（月） 15時00分～19時50分

B.場所：建築会館会議室301およびZOOMによるオンライン会議

C.出席者：（会長）高田毅士、（副会長）中村いずみ、年縄 巧、大堀道広

（担当理事）高橋郁夫、本多 剛、前川 晃、渡邊和明、隈本邦彦、上田 遼、皆川佳祐、阿部慶太、向井洋一、中嶋唯貴、丸山喜久、高瀬裕也、上田恭平、吉見雅行（欠席）

（監事）永野正行、室野剛隆（欠席）

オブザーバ出席：山中浩明次期副会長、戸田薫子事務局長、竹元悦子事務局員

※下線はオンラインでの出席者

※渡邊理事の「邊」の字は一点しんにようと読み替えてください

D.議題および提出資料：

報告事項

1) 第72回理事会議事録（案）確認（本多理事）	資料 73-01
2) 第25回正副会長会議報告（本多理事、高田会長）	資料 73-02
3) 会務報告（高橋理事）	資料 73-03
4) 会計報告（前川理事）	資料 73-04
5) 広報部会からの報告（隈本理事）	資料 73-05
6) 情報コミュニケーション委員会からの報告（上田(遼)理事）	資料 73-06
7) 会誌編集委員会からの報告（皆川理事）	資料 73-07
8) 国際委員会からの報告（阿部理事）	資料 73-08
9) 地震災害対応委員会からの報告（吉見理事）	資料 73-09
10) 論文集編集委員会からの報告（向井理事）	資料 73-10
11) 事業企画委員会（企画）からの報告（高瀬理事）	資料 73-11
12) 2024年度大会に関する報告（中嶋理事）	資料 73-12
13) 将来構想委員会からの報告（大堀副会長）	（資料なし）資料 73-13
14) メール審議（2件）結果報告（本多理事）	資料 73-14

議案

第1号 入退会者（本多理事）	資料 73-15
第2号 ~~委員の委嘱（高橋理事）~~	~~資料 73-16~~
第3号 共催・後援・協賛等（本多理事）	資料 73-17
第4号 事務処理規程の改定（本多理事）	資料 73-18

懇談事項

1) 予算流用、補正予算について（前川会計理事・事務局）	資料 73-19
2) 2024年度活動報告、2025年度活動計画・予算案の作成について（高橋理事）	資料 73-20
3) 大崎順彦賞の応募状況、選考、副賞メダルについて（高橋理事）	資料 73-21
4) 論文賞の副賞メダルについて（高橋理事）	資料 73-22
5) 功績賞、功労賞、名誉会員の候補者について（高橋理事）	資料 73-23
6) 次期理事会の体制について（高橋理事）	資料 73-24
7) 事務局長と新事務局長の待遇について（本多理事）	資料 73-25
8) ~~年会費変更について（大堀副会長）~~	~~資料 73-26~~
9) 会員名簿のメールアドレスの記載について	資料 73-27
10) 新規研究委員会設立について（年縄副会長・渡邊理事）	資料 73-28

E.議事録：

報告事項

- 1) 第 72 回理事会議事録（案）の確認（本多理事）
  - ・本多理事より、資料 73-01 に基づいて、第 72 回理事会議事録案の説明がなされ、異議なく承認された。
- 2) 第 25 回正副会長会議報告（本多理事、高田会長）
  - ・本多理事より、資料 73-02 に基づいて、第 25 回正副会長会議報告の説明がなされ、了承された。
- 3) 会務報告（高橋理事）
  - ・高橋理事より、資料 73-03 に基づいて、前回理事会以降の会務報告がなされた。
- 4) 会計報告（前川理事）
  - ・前川理事より、資料 73-04-1 と資料 73-04-02 に基づいて令和 6 年度予算の執行状況及び収支の実績率の説明がなされ、年次大会の収入については未計上であること、管理費支出の雑支出は振込手数料の増加と求人費用などで増加したこと等が報告された。
  - ・高田会長より、事業収入と支出の計上の進捗に関して質疑がなされ、これに対して前川理事より、16JEES の論文投稿料と年次大会収入が今後確定していくこと、会費収入減少傾向にあることの説明がなされた。
  - ・高田会長より、志賀原発の強震動データ（英語版）の販売状況の質疑がなされ、これに対して戸田事務局長より実績は 0 との回答がなされた。
  - ・前川理事より、税理士の涌井先生から、①本年度の赤字が 600 万円強という金額は危機的な状況であること、②次期繰越収支差額が 1000 万円下回ると本年度と同等の予算は組めないこと、③現状が続くと再来年度以降の当会の存続が困難であること、の指摘を受けていることの報告がなされ、来年度予算の収支改善に向けた協力をお願いがなされた。
  - ・山中次期副会長より、他の多くの学会も会誌のオンライン化が進んでいるため、会誌関連支出の削減の検討が要望された。また、隈本理事より、NPO においても機関誌の PDF 化が進んでいることの紹介がされた。
- 5) 広報部会からの報告（隈本理事）
  - ・隈本理事より、資料 73-05 に基づいて、広報部会からの活動報告がなされた。日本地震工学会誌 No53（発刊 10 月）を 11 月に国土交通省、文部科学省、気象庁の各記者クラブ、石川県政記者クラブに配布したことの説明がされた。
  - ・隈本理事より、資料 73-05 に基づいて、JAEE 神戸地震 30 周年行事に向けた広報として関係記者クラブに対して、取材申し込み受付も兼ねたプレスリリースの投げ込みを実施することの説明がなされた。
- 6) 情報コミュニケーション（IC）委員会からの報告（上田(遼)理事）
  - ・上田(遼)理事より、資料 73-06 に基づいて、情報コミュニケーション委員会の活動（メールニュース、ニュースレター）について説明がなされ、Newsletter 1 2 月号の紹介がなされた。
  - ・上田(遼)理事より、メール、ウェブ、メディア（SNS）を一体的にリンクさせ、ユーザー利便性の向上、分析が可能となったこと、IC 委員会の年間計画および将来構想委員会提言に沿った企画の進捗状況の報告がなされた。
  - ・上田(遼)理事より、ウェブサイトの改修のための WordPress の更新（更新料 4 万円）の説明がなされ、承認された。
- 7) 会誌編集委員会からの報告（皆川理事）
  - ・（皆川理事が途中退室のため）高田会長より、資料 73-07 に基づいて、会誌編集委員会の活動状況と日本地震工学会誌第 54 号（2025 年 2 月末発行）について報告がなされた。
- 8) 国際委員会からの報告（阿部理事）
  - ・阿部理事より、資料 73-08 に基づいて、国際委員会の活動について報告がなされた。

- ・阿部理事より、韓国地震工学会との協定 (MOU) 締結に向けた手続きについて説明がなされ、3/19～20の韓国地震工学会総会@釜山において高田会長が講演を行うこと、高田会長と同行者一人(阿部理事)の渡航費用を韓国側で負担して頂けること、協定締結に関する費用(調印書・ケース)の負担について今後協議することの説明がなされ、承認された。
- 9) 地震災害対応委員会からの報告(吉見理事)
- ・吉見理事(欠席)より、資料 73-09 に基づいて、地震災害対応委員会では報告事項がないことの確認がなされた。
- 10) 論文集編集委員会からの報告(向井理事)
- ・向井理事より、資料 73-10 に基づいて、日本地震工学論文集の編集状況および今後の予定の報告がなされた。
  - ・向井理事より、査読状況(特集号を含まない)は年間 31 件となっていること、2025 年から特集号 No.1～No.4 の発刊が予定されていることの説明がなされた。
  - ・向井理事より、論文集編集委員会から 2024 年度論文賞の推薦書を 11/27 に提出したこと、2024 年度論文奨励賞の選考のための作業を 12/2 から開始したことの説明がなされた。
- 11) 事業企画委員会(企画)からの報告(高瀬理事)
- ・高瀬理事より、資料 73-11 に基づいて、事業企画委員会の活動と今後の予定について報告がなされ、震災予防講演会(2025 年 2 月 7 日)、E-ディフェンス見学会(終了)、横浜サイエンスフロンティア高校出前講義(2025 年 1 月)、地震工学分野における DX 講習会・研究会 2025(2025 年 5 月)の内容と今後にかかる経費や、謝金を交通費に充当することの説明がなされ、承認された。
  - ・高瀬理事より、神戸地震 30 年行事(2025 年 1 月 24 日)の内容の詳細および謝金等の経費についての説明がなされ、承認された。
- 12) 2024 年度大会に関する報告(中嶋理事)
- ・中嶋理事より、資料 73-12 に基づいて、2024 年度大会の収支の報告(+130 万円程度の黒字予想)と、優秀発表賞の選考状況の説明がなされ、11 名の優秀発表賞の受賞者について了承された。高田会長より、非会員の受賞者については入会のお願いをすることの要望がなされた。
  - ・中嶋理事より、地震工学会の年次大会には地震学会に所属している方も多く参加しているため、2027 年の地震工学会の合同開催(つくば市)では参加収入が減ることの懸念が報告された。
  - ・丸山理事より、資料 73-12-02 に基づいて、2025 年の年次大会の開催地について山中次期会長と相談の上、見積比較の上、候補地の選定を行っていることの説明がなされた。那覇市が最も意欲的に誘致を行っていること等の理由から、2025 年度年次大会は那覇市で行うことで、了承された。
- 13) 将来構想委員会からの報告(大堀副会長)
- ・大堀副会長より、これまでの収支の要因分析を行い、個人会費だけではなく法人会費も値上げすることによって財政収支を改善させること、支出削減を図って会費の値上げを受け入れ易くすることの検討を行ったこと報告がなされた。
  - ・年縄副会長より、個人会費を 2000 円上げた場合は 200 万円の収入増になることの確認がなされた。また、個人の負担を増やすより(会社)経費で処理できる項目の方が値上げしやすいことの共通認識がなされた。
- 14) メール審議(2件)結果報告(本多理事)
- ・本多理事より、資料 73-14 に基づいて、①2024 年 10 月度の入会者、②講演会「阪神・淡路大震災から 30 年」の参加費についてのメール審議を行い、全員の承認を得たこと報告がなされた。

議案

第 1 号 入退会者(本多理事)

- ・本多理事より、資料 73-15-1～3 に基づいて、入退会者の報告がなされ、承認された。

第3号 共催・後援・協賛等（本多理事）

- ・本多理事より、資料 73-17 に示された共催 1 件、後援 3 件、協賛 0 件について説明がなされ、後援の 3 件については承認された。共催 1 件については費用負担が発生するため否認とし、協賛とすることで、承認された。

第4号 事務処理規程の改定（本多理事）

- ・本多理事より、資料 73-18 に基づいて、事務処理規程（2017 年 8 月 8 日改定）は紙ベースの文書管理・保管を主としており、現在の事務局に行っている電子メールやクラウドシステムを利用した事務処理の実状と異なっていることから改定が必要なことの説明がなされ、事務処理規程の改定が承認された。

懇談事項

1) 予算流用、補正予算について（前川会計理事・事務局）

- ・前川理事より、資料 73-19 に基づいて、予算流用（同一科目内での変更）と補正予算の項目および金額の説明がなされ、承認された。
- ・高田会長より、特集号の論文投稿収入に関して本年度と次年度分に分割して見込み額とすることの指示がなされた。

2) 2024 年度活動報告、2025 年度活動計画・予算案の作成について（高橋理事）

- ・高橋理事より、資料 73-20 に基づいて、次年度の事業計画と予算案の提出期限、スケジュールについて説明がなされた。

3) 大崎順彦賞の応募状況、選考、副賞メダルについて（高橋理事）

- ・高橋理事より、資料 73-21 に基づいて、大崎順彦賞の応募者リスト、大崎順彦賞の選考規定案（非公開）、副賞メダルのデザイン案の説明がなされた。選考方法の詳細については選考委員会で今後議論していくことが確認された。

4) 論文賞の副賞メダルについて（高橋理事）

- ・高橋理事より、資料 73-22 に基づいて、論文賞の受賞者に付与される副賞メダルは筆頭著者のみであるが、共著者から自己負担で欲しいとの要望があったことから、共著者にも有償で副賞メダルを授与することについて議論され、現行通り筆頭著者のみとすることが確認された。

5) 功績賞、功労賞、名誉会員の候補者について（高橋理事）

- ・高橋理事より、資料 73-23 に基づいて、各表彰項目と選考委員、名誉会員と功績賞の相違について説明がなされた。
- ・高橋理事より、功績賞の候補者リストの説明がなされた。議論の結果、工藤一嘉氏（推薦者：九州大学・神野先生）、河村壮一（推薦者：渡邊理事）が選ばれた。功労賞については、小林前総務理事と戸田事務局長が選ばれた。

6) 次期理事会の体制について（高橋理事）

- ・高橋理事より、資料 73-24 に基づいて、次期理事会のメンバーについての説明がなされ、次期理事の選定が依頼された。
- ・戸田事務局より、17JEES の担当理事は後藤先生となっていることの説明がなされた。
- ・庄司先生と後藤先生と一緒に会場候補の設定を行っており、第一候補は熊本、第二候補は奈良コンベンションセンターとして検討の結果、熊本に決定したことが報告された。

7) 事務局長と新事務局長の待遇について（本多理事）

- ・本多理事より、資料 73-25 に基づいて、次期事務局長（残業代あり）の採用に当たって、現事務局長（残業代なし）の契約条件との違いのため 2025 年 3 月から 5 月の期間（3 か月）において、

同一労働同一賃金を守れないことの説明がなされ、戸田事務局長退職時に残業代に相当する額を一時金として支払うことが提案され、承認された。

8) 会員名簿のメールアドレスの記載について（本多理事）

- ・本多理事より、資料 73-27 に基づいて、会員名簿にメールアドレスを記載してほしいとの要望が在ることの説明がなされ、2025 年度の名簿更新から氏名・会員区分・所属・専門分野の 4 項目に加え、個人の希望でメールアドレスを記載できるようにすることが確認された。

9) 新規研究委員会設立について（年縄副会長・渡邊理事）

- ・年縄副会長より、資料 7-28 に基づいて、新規研究委員会の提案書（2 件）の説明がなされ承認された。
- ・渡邊理事より、研究委員会の開始時期と予算について質疑がなされ、これに対して戸田事務局長より年度途中で立ち上げる場合は半分の予算としていることの説明がなされた。

10) その他

- ・戸田事務局長より、監査会の日程について説明がなされ、4 月 8 日に行うことの調整がなされた。（後日変更となり、監事監査会は 4 月 10 日（木）11 時～になった）

上記の通り出席した業務執行理事より業務報告がなされた。

次回予定：（第 74 回理事会）：3 月 14 日（金）16-19 時

以上 この議事録が正確であることを証します。

令和 年 月 日

議長 高田 毅 士

監事 永野 正 行

監事 室野 剛 隆